

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(鹿児島市)			
事業名	青少年育成啓発活動	実施時期	令和7年7月16日(水) (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	外部講師を招き、子どもたちの健全育成に資する非行防止啓発活動を目的とする。		
参加者	生徒、教職員、鹿児島中央署少年係、吉野交番管内安全安心ボランティアネットワーク協議会、地域の防犯関係者等		
活動概要	○ 青少年のSNS等を利用する時間が増える傾向にある夏休みを前に、SNSに起因する犯罪やトラブルに巻き込まれる機会が更に増加することが懸念されることから、鹿児島中央署少年係による講話や啓発を図った。 ○ 吉野交番管内安全安心ボランティアネットワーク協議会事務局長より、組織的かつ計画的な補導活動を実施し、深夜徘徊、飲酒・喫煙等の早期発見と適切な指導に努める見守り活動実施の周知・啓発を図った。 ○ 啓発・補導活動の強化、非行防止活動の推進等のチラシを生徒に配布した。 ○ 参加者は延べ1060人(生徒960人、教職員50人、鹿児島中央署少年係、吉野交番管内安全安心ボランティアネットワーク協議会、地域の防犯関係者等50人)		
活動写真 [説明]	 【写真1】 事務局長の講話。教室へ配信して実施した。  【写真2】 事務局長の講話(写真1)の後、吉野交番管内安全安心ボランティアネットワーク協議会の方が各教室で生徒へ向けチラシを配りました。		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(日置市)

事業名	日新地区防犯球技大会	実施時期	7月27日(日) (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	○ グラウンドゴルフ大会を通して、子どもたちと地域住民との交流。 ○ 地域住民が一堂に会し、スポーツ活動を通して、ふれあいや親交を深めると共に、安全なまちづくりや青少年健全育成の気風を高める機会とする。		
参加者	○ 子ども 14名 ○ 大人 34名 ○ 地区公民館役員 3名 ※ 合計 51名		
活動概要	○ グラウンドゴルフ大会 ・子どもたちは学年ごとに、ハンディキャップをして実施しました。 ・表彰は、子ども・大人の部に分かれて実施しました。		
活動写真 [説明]	 ○ 晴天ではあったが強風の中、1チーム子どもから大人5～6名で構成し、大人が子どもたちにルールを教えながら、和気あいあいの中で開催できました。		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(いちき串木野市)

事業名	夏休みチャレンジ教室	実施時期	8月20日 (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	児童・生徒に集団遊びや体験活動の機会や場を提供するために、講師を招聘し科学の実験教室や物づくり等の教室を開催する。		
参加者	小学生:約70名 保護者:約60名 講師5名 事務局5名		
活動概要	科学の不思議体験をしてみませんか？ 内容 「水溶液で雪を降らせよう！」 「偏光万華鏡をつくろう！」 市内小学生を対象に、理科専門の先生が、実験や工作で理科の楽しさを教えてくれます。参加費無料！ 保護者付き添いで参加できます。		
活動写真 [説明]	 [熱心に説明を聴く]  [みんなで話し合う]  [親子で仲良く]  [うまくいくかなあ]		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(三島村)

事業名	六月灯(硫黄島)	実施時期	令和7年7月18日(金)
趣旨又は目的	- 児童生徒が硫黄島の伝統文化に触れ、地域の一員と担う者としての誇りと自覚をもつことを目的とする。 - ジャンベ演奏を披露し、地域の方々に楽しんでいただくという貴重な経験から地域の方々との交流を目的とする。		
参加者	児童生徒、保護者、地域住民		
活動概要	6月26日(木) 灯籠作り 全児童生徒が和紙に思い思いの絵を描き、木枠で作った灯籠に丁寧に張り付けた。 6月～7月 ジャンベ練習。 夏の祭典に向けてジャンベ練習を行い、六月灯でリハーサルもかねて地区住民に披露した。 7月18日(金) 六月灯当日 地区青年会が主催する出店などを楽しんだ。終盤にはジャンベの演奏を行い、地域の方々と一体になり盛り上がりを見せた。		
活動写真 [説明]	   		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

市町村名(三島村)

事業名	親子レクリエーション(竹島)	実施時期	令和7年7月5日
趣旨又は目的	・ 異年齢児童生徒間、児童生徒と保護者間の交流を図る。 ・ 児童生徒主体で活動内容を決定するとともに、児童生徒自身で活動費を作り出す活動を通して、学校生活だけでは学ぶことのできない勤労意欲や勤労意識を育てる。		
参加者	・ 児童 7名 ・ 生徒 4名 ・ 保護者他 2名 ・ 学校職員 13名		
活動概要	※ 事前に子ども会(保護者・児童生徒)で話し合いをもち、児童生徒主体で活動内容を決定する。 ※ しおかぜ留学生在が夏休みには帰省することもあり、夏の思い出づくりとして開催している。地域の自然を生かした活動を楽しむことができた。 〈令和7年度の親子レク会順〉 1 開会のことば 2 子ども会会長あいさつ 3 子ども会保護者代表あいさつ 4. 海でのレクリエーション 5. 軽食(そうめん流し) 6. 花火 7. 閉会のあいさつ 〈準備等〉 食事の準備:おにぎり(各家庭から持参)、そうめん流しの準備・花火の準備(保護者・教職員)		
活動写真			
[説明]	サップに挑戦	みんなで食べるご飯はおいしい	
			
	流しそうめんが楽しい	花火が綺麗	

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

(十島村・平島)

事業名	夏休みの過ごし方 (PTA活動)	実施時期	7月9日(水) (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	1 夏休みの過ごし方について、学校と家庭が連携をとりながら子どもたちが安心・安全に生活できるようにする。 2 インターネット利用に係る子どもの犯罪被害の現状を知り、ペアレンタルコントロール等犯罪被害にあわないために大人がすべきことについて確認をする。 3 犯罪被害にあった時のために、相談窓口等について周知する。		
参加者 人数	保護者 8人 地域住民 4人 職員 12人		
活動概要	1 青少年を取り巻くインターネット利用に係る子どもの犯罪被害の現状についての説明 ・ ネットいじめ ・ 性犯罪被害 ・ 個人情報の流出 ・ ネット依存、ゲーム障害 ・ 本校のインターネット利用の現状 2 家庭（保護者）ができることについての再確認 ・ ペアレンタルコントロール ・ フィルタリング ・ インターネット利用についての家庭のルール・約束事の設定 ・ 青少年インターネット環境整備法 3 相談窓口についての紹介 ・ かごしま子ども・若者総合相談センター ・ 鹿児島教育ホットライン24 等		
活動写真 [説明]	 【学校職員による現状報告と啓発】  【配布資料】		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

(十島村・宝島)

事業名	宝島の魅力再発見 ～シン・たからじまっぷをつくろう～ (地域学校協働活動)	実施時期	令和7年6月27日 7月11日 7月14日(3日) (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	宝島の魅力について、フィールドワークや島民の方々にインタビューをする活動を通して、自分たちの住んでいる宝島への理解と愛情をもつことができるようにする。また、その際に、自分たちがこれまで知らなかった宝島の歴史や自然、滞在歴が違う島民の方々それぞれが思う心を感じたり、宝島で生きる、暮らすことの良さを子どもたち一人一人が感じ取ったりしながら、それぞれの「島立ち」をした後も、宝島で過ごしたことを誇りに思えるような生き方につなげることができるようにする。		
参加者人数	5年生5名 6年生1名 地域協力者6人		
活動概要	・宝島のことをよりよく知るためにフィールドワークを実施する。 ・宝島のことをよく知っている島民を学校に講師として招聘し、インタビューを行う。 ・自分たちが聞いてみたいことをまとめ、校外に出てインタビュー活動を実施する。		
活動写真 [説明]	  [宝島で生まれ育った島民の方々に学校にグестティーチャーとして、呼び、自分たちの疑問に思っていることや宝島の魅力、歴史について学ぶ]   [宝島に来て、数年や数ヶ月の滞在歴の人々にも宝島の魅力についてインタビューをする。] 子どもたちは、これからの活動を通して、宝島滞在歴の長い人々をベテラン組(宝島に欠かせない人々、宝島の歴史をつくり、つないできた人々)中堅組(宝島の今を支えている人々)、ルーキー組(宝島の良さや魅力を今探している人々)と分類し、それぞれが、支え合うことで宝島の良さは永遠に続くのではないかと考えている。今後は、観光マップや調べて分かるものにもものっていない宝島の魅力についてまとめる学習を行う。		

令和7年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組

(十島村・悪石島)

事業名	「対馬丸の日」の「あおぞら活動」 (子ども会活動)	実施時期	令和7年8月21日 (令和7年7月1日～8月31日)
趣旨又は目的	○ 慰霊碑が建てられたことの歴史や人々の思いを理解し、「いのちの尊さ」や「平和の大切さ」について深く考えようとする心を育てる。 ○ 地域の環境美化に関心を持ち、児童・生徒が自ら進んでよりよい環境をつくろうとする態度を育てる。		
参加者人数	悪石島学園全校児童生徒、教職員、保護者、地域住民 数十人		
活動概要	本校の夏の特色ある取組として、「対馬丸の日」の「あおぞら活動」が挙げられる。この取組は島を代表する夏の慰霊祭であり、児童生徒や保護者、地域住民数十名が参列して清掃活動や焼香が行われる。 今年度の「対馬丸の日」は81周年を迎える。悪石島学園の児童生徒は、60年以上に渡って対馬丸慰霊碑周辺の清掃活動と慰霊の取組を続けている。 悪石島の対馬丸慰霊碑は、1962年に佐藤日健人尚によって建てられた。最初の建立地から様々な事情で場所を変えたが、二度の移転を経て現在の場所に落ち着いた。「いまだに御霊が沈む、海が見える場所がふさわしい。」という島民の肥後政次郎氏から土地が無償で提供された。縁起碑(1970年建立)、鳩の像(美たま)、地藏、観音像の四基の慰霊碑がある。 戦時中、島の人々は海岸に漂着する多くの犠牲者を引き揚げ、埋葬してきた。海で犠牲になった人々への鎮魂の思いをもち続けた島の人々は、たくさんの小さな命が島のすぐそばで犠牲になったと聞き「わが子を失ったのと同様の悲しみを、遺族と同じような気持ちで抱いてきた。」と語っていた。 かつて悪石島自治体が主導となって行ってきた慰霊碑を守る取組は、20年程前から悪石島小中学校(現悪石島学園)に委ねられ、慰霊碑やその周辺の清掃維持活動を、毎月1回、「あおぞら活動」と称して総合的な学習の時間に実施している。 今後も「あおぞら活動」を通して郷土の歴史と平和の尊さを学び、特色ある伝統的な取組を継承していきたい。		
活動写真 [説明]	 [慰霊碑の清掃活動をする児童生徒]  [清掃活動を終えた後の慰霊碑]  [慰霊碑に焼香する児童生徒]  [慰霊碑前で「世界に一つだけの花」を歌う児童生徒]		